

各分野における目標に対する現状一覧

分野	目標	目標値 (2030年度)	基準年度又は目標設定時の状況		最新の状況		目標値 (2030年度) 《参考:計画改定前》	基準年度又は目標設定時の状況 《参考:計画改定前》	
			数値	年度	数値	年度		数値	年度
脱炭素・省エネルギー	■府域における温室効果ガス排出量	48%削減 (2,887万トン)	5,551万トン	2013	24.1%削減 (4,212万トン)	2023	40%削減 (3,331万トン)	5,551万トン	2013
	■府庁の事務及び事業に伴う温室効果ガス排出量	53%削減 (25.9万トン)	55.1万トン	2013	37.8万トン (31.4%削減)	2024	45%削減 (30.3万トン)	55.1万トン	2013
	■自立・分散型エネルギー導入量 (太陽光発電、燃料電池、廃棄物発電等導入量)	250万kW以上	185.3万kW	2019	209.6万kW	2024	250万kW以上	185.3万kW	2019
	■再生エネルギー利用率 (電力需要量に占める再生可能エネルギー利用率)	35%以上	20.8%	2019	19.0%	2024	35%以上	20.8%	2019
	■エネルギー利用効率 (府内総生産あたりのエネルギー消費量)	40%以上改善	15.0PJ/兆円	2012	12.0PJ/兆円 (19.9%改善)	2022	40%以上改善	15.0PJ/兆円	2012
資源循環	■一般廃棄物 ^{※1}								
	排出量	263.1万トン	277.1万トン	2024	277.1万トン	2024	276万トン	308万トン	2019
	1人1日当たり排出量	846g/人・日	864g/人・日	2024	864g/人・日	2024			
	再生利用率	—	—	—	12.4%	2024	17.7%	13.0%	2019
	最終処分量	29.5万トン	31.0万トン	2024	31.0万トン	2024	31万トン	37万トン	2019
	1人1日当たり最終処分量	95g/人・日	97g/人・日	2024	97g/人・日	2024			
	1人1日当たり生活系ごみ排出量	—	—	—	400g/人・日	2024	400g/人・日	450g/人・日	2019
	■産業廃棄物 ^{※1}								
	排出量	1,340万トン	1,336万トン	2024	1,336万トン	2024	1,368万トン	1,357万トン	2019
	再生利用率	—	—	—	31.1%	2024	33.2%	32.4%	2019
	最終処分量	35万トン	37万トン	2024	37万トン	2024	33万トン	40万トン	2019
	■プラスチックごみ ^{※1}								
	プラスチックの焼却量	—	—	—	48万トン	2024	36万トン	48万トン	2019
	有効利用率	—	—	—	91%	2024	94%	88%	2019
	容器包装プラスチック(一般廃棄物のみ)の排出量	—	—	—	23万トン	2024	21万トン	24万トン	2019
	再生利用率	—	—	—	28%	2024	50%	27%	2019
	■食品ロスの削減								
	食品ロス量	事業系:60%減 家庭系:50%減 (2000年度比)	事業系:33.2万トン 家庭系:32.2万トン	2000	37.8万トン	2022	半減 (2000年度比)	65.4万トン	2000
	食品ロス削減のための模数(2項目以上)の取組を行う府民の割合	90%	81.9%	2020	82.3%	2025	90%	81.9%	2020
全てのいのちの共生	■自然の恵みに関する意識の向上 ■自然環境に配慮した行動の促進								
	自然環境に配慮した行動をする府民の割合 ^{※2}	—	9.8%	2022	13.0%	2025	—	18.6%	2020
	■自然環境の持続的な保全の推進 ■事業者等と連携した保全活動の推進 ■特定外来生物の防除の推進								
	連携した取り組みを行う事業者・団体数 ^{※2}	—	307事業者・団体	2022	301事業者・団体	2025	—	299事業者・団体	2020
	府内で確認された特定外来生物のうち必要な対策がなされた割合 ^{※2}	—	29.4%(10種/34種)	2022	28.6%(10種/35種)	2025	—	28.1%(9種/32種)	2020
	■市町村や保全団体等と連携したモニタリング体制の構築								
	法令等に基づく地域指定の割合(陸域) ^{※2}	—	24.6%	2022	24.6%	2025	—	24.6%	2020
健康で安心な暮らし	■大気環境								
	二酸化窒素(NO ₂)について①全局0.06ppm以下を達成し、さらに②全局0.04ppm以下をめざす。	①0.06ppm以下の測定局 100% ②0.04ppm以下の測定局 100%	(1)100% (99局/99局) (2)91.9% (91局/99局)	2020	(1)100% (90局/90局) (2)100% (90局/90局)	2025	①0.06ppm以下の測定局 100% ②0.04ppm以下の測定局 100%	(1)100% (99局/99局) (2)91.9% (91局/99局)	2020
	光化学オキシダントについて、1時間値0.12ppm(注意報発令レベル)未満を全ての測定地点で達成	0.12ppm未満の測定局 全局	27局(／68局)	2020	46局(／61局)	2025	0.12ppm未満の測定局 全局	27局(／68局)	2020
	■河川環境								
	BODの生活環境保全目標達成	達成率100%	96.3%	2020	95.1%	2025	達成率100%	96.3%	2020
	■大阪湾の環境								
	大阪湾に流入するプラスチックごみの量	2021年度より半減	156～216トン	2021	128～185トン	2024	2021年度より半減	58.8トン	2021
	底層溶存酸素量の改善をめざす。	-(注3)	0% (3地点中0地点)	2021	0% (3地点中0地点)	2025	-(注3)	0% (3地点中0地点)	2021
	藻場面積95haを目指す。	藻場面積95ha (2031年度)	84ha	2021	84.8ha	2025	藻場面積95ha (2031年度)	84ha	2021
	■化学物質								
	環境リスクの高い化学物質の排出量を2019年より削減	2019年度より削減	4,083トン	2019	3,560トン	2024	2019年度より削減	4,083トン	2019
魅力と活力ある快適な地域づくり	■府域面積に対する緑地の確保 ^{※2}	—	—	—	40.8%	2022	約4割以上確保 ^{※1}	約4割	2009
	■緑化(市街化区域)	—	—	—	約14%	2024	緑被率20% ^{※1} (現況の1.5倍)	13.9	2009
	■地球温暖化の影響を除外した熱帯夜日数	—	—	—	40日	2023	3割削減	37日	2000

注1 排出量や最終処分量などの各項目(計画改定前)の目標値は2025年度

注2 モニタリング指標(取組内容を検証する際に活用する指標)

注3 底層溶存酸素量については、国において環境基準の達成状況の評価方法が定まっておらず、環境基準点も検討中であることから、当面の間は、類型指定(生物3)がなされた大阪湾奥部の生活環境項目(COD等5項目)の環境基準点の各地点において確認する。